

# 宇宙、地球の姿

風船から動画撮影

文科省サイエンス指定校 札幌大高

撮影を行ったのは9月7日。小型カメラを直径20センチほどの円柱型の発泡スチロールに埋め込み、ヘリウムを充填した直径1・4メートルの風船とたこ糸でつなぎ、日高山脈北部から飛ばした。風船は上空3万3千メートルまで上昇し、気圧の低下に伴って破裂。約2時間後、衛星利用測位システム(GPS)などを頼りに約70キロ

東の十勝管内土幌町の牧草地に落下していたのが見つかった。

映し出されていたのは青く輝く地球と漆黒の宇宙。

1年生の時から実験にかかるべきだったりーだーの郷さんやかさん(3年)は「3年かけてやっと飛ばせた。自分たちで宇宙を撮れたなんて信じられない」とうれしそうに話した。

同校は文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールに指定されており、さまざまな課題研究に取り組んでいる。2012年秋に理科担当の藤原俊介教諭(40)が今回の実験を提案し、賛成した生徒7人で「スペースバルーン班」を結成、週1度2時間の授業で実験を重ねてきた。

最初は黒いビニール袋で

風船を手作りし、太陽熱で中の空気を膨張させて飛ばそうとしたが、浮力がなく失敗。小型カメラを収納する「機体」は衝撃を吸収できるよう発泡スチロールで手作りしたが、直方体だと風に吹かれて安定せず、形を改良したら強度が落ち、5回も作り直した。

それでも、「できると信じないとできないと思つ

た」とメンバーの波連圭佑君(3年)。同様の撮影技術を確立した札幌在住の岩谷圭介さんや名古屋大の研究チームに助言を仰ぎ、成功にこぎ着けた。

3年間、実験に関わった中原嘉路君(3年)は「地球と宇宙の境目がすごく感動した」とうれしそう。映像の一部は今後、同校ホームページでの公開を検討している。藤原教諭は「私がへこたれそれでも生徒が粘り強かった。他校の生徒が挑戦する際の見本になれ」と話している。

秋の一日、6.2キロを散策

■あす市民ウォーキング

【北広島】市健康づくり推進員は10日午前10時から、JR北広島駅発着で第4回健康づくり市民ウォーキングを開催する。

レクリエーションの森にある水辺の広場まで往復する6.2キロのコースを歩く。当日々飲み水、タオルを持参すること。参加無料。集合は午前9時50分。雨天中止。

申し込みは9日までに、市健康推進課(372・3311内線

808へ。

「カローリング」楽しもう

■来月23日、全道交流大会

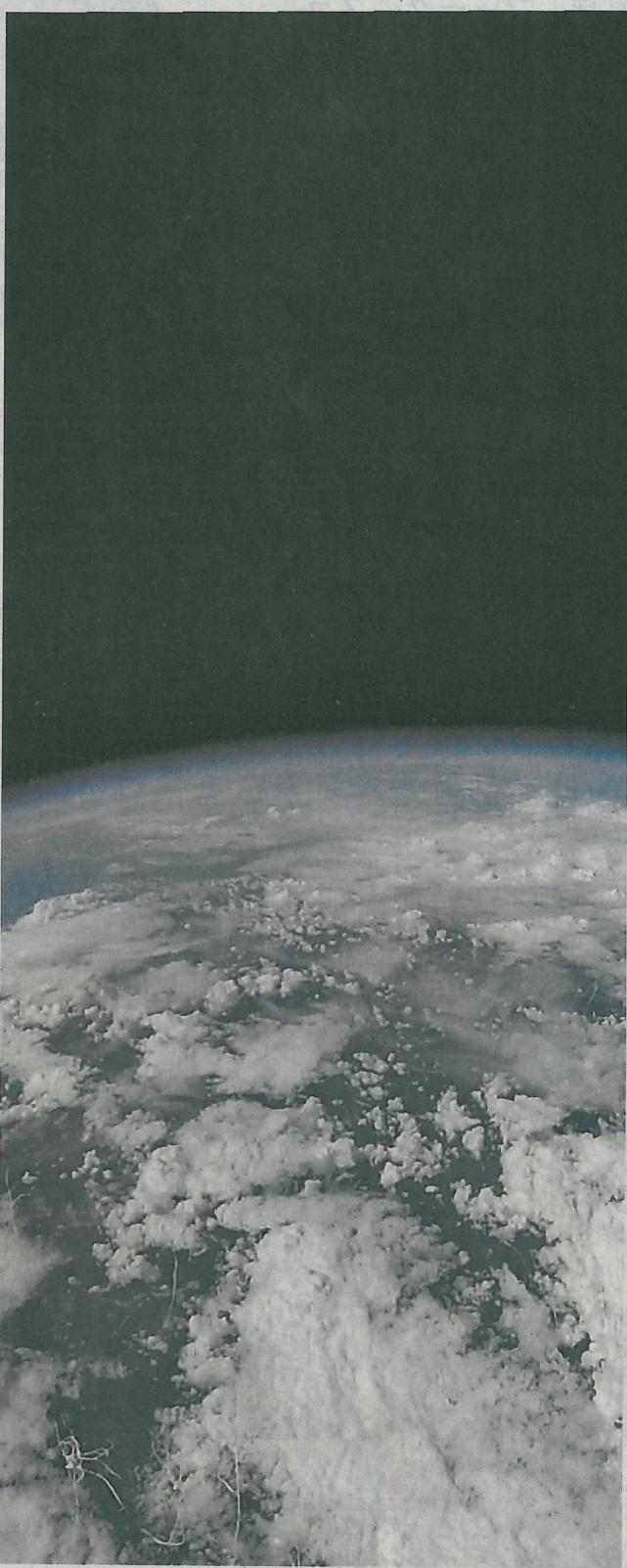
【石狩】カーリングを氷のない場所で誰でも気軽にできるように改良した「カローリング」の全道交流大会が11月23日、市B&G海洋センター(花畔)で開かれる。主催する市が参加チームを募集している。

カローリングは車輪の付いた円盤を滑らせ、11歳先のの中に入れるスポーツ。1993年に名古屋で誕生した。世代

を超えて楽しめるスポーツとして、石狩市は2005年から普及に力を入れている。

会場では石狩鍋を全員に振る舞い、全チームに参加賞として石狩の特産品を配る。上位6位までの入賞チームには浜益産のコメやホタテなどを贈る。

参加費は1チーム(3~5人)2千円。小学生チームには保護者が1人以上入る。初心者や市外在住者も参加できる。希望者は10月10日までに市スポーツ健康課(0133・72・6123)へ。



⑥風船に取り付けた小型カメラで成層圏から撮影した地球と宇宙。ヘリウムを詰めた風船にカメラを取り付けて飛ばす生徒ら

(いずれも札幌大高提供)

•37・2181へ。  
(佐々木風人)

O 22 19 18 17 16 14 12 11 9 6 (9日)  
F T E L 37-2-7500  
A X 37-2-63336 ホツとモーニング  
朝のクラシック  
市役所情報BOX  
吉本ホツカモリ  
メイプル歌謡天国  
J-POP  
イブニング  
ワールド  
ミッドナイト  
市役所情報BOX  
FMメイプル

由に制作している。

まで開館する。市民有志にちを育む読書条例」を施行

過性でなく、長くみんなに愛され、運営も無理なく続けられよう」(実行委)

との思いからだ。

今年の実行委員長を務める末広町の主婦水野みどりさん(50)は「本や図書館が日常に溶け込んで、恵庭の文化として深まっていけば」と期待する。問い合わせば、同図書館(0123)

FMメイプル